

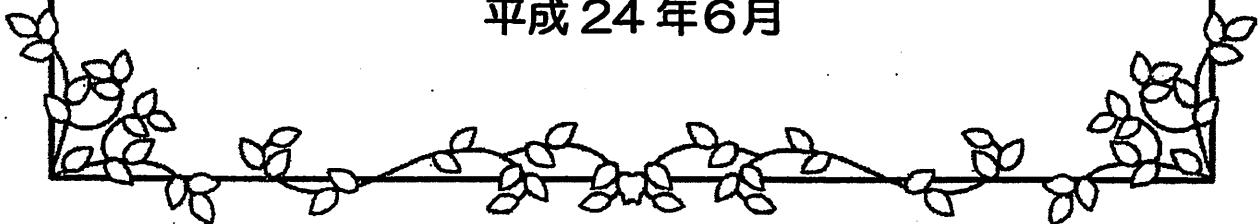


みんなで育てる 明るいまちづくり

根本校区地域力向上プラン

根本校区地域力向上推進会議

平成24年6月





目次

はじめに	1
1. 根本校区の概要と地域ニーズ	2
1) 位置・人口	2
2) 世帯の特徴	3
3) 地域に対する住民の評価	4
4) 地域の将来像に対する住民の意見	6
5) 課題と感じていること	6
6) 住民が力を合わせるとよいとする活動	7
2. 根本校区のめざす将来像	8
1) 根本校区の将来像（キャッチフレーズ）	8
2) 取り組むテーマ	8
3. 取り組みテーマごとの活動方針	9
取り組みテーマ1「防災」	10
取り組みテーマ2「地域交流」	12
取り組みテーマ3「高齢者・障がい者」	14
取り組みテーマ4「子ども・子育て」	16
取り組みテーマ5「防犯」	18
取り組みテーマ6「自然・生活環境」	20
4. プランの実施に向けて	22
1) 根本校区地域力向上推進会議	22
2) 財源の確保	24
3) 活動拠点	24
4) 多治見市役所、社会福祉協議会	25
5. 資料	26
1) プラン策定経過	26
2) 参加者名簿	32



はじめに

根本校区地域力向上推進会議
会長 久我 正 (第22区区長)

ここにお届けする「根本校区地域力向上プラン」は、「地域力をいかにしたら向上できるか」を旗印に、みんなでつくり上げたものです。

「ふれあいねもと」を事務局に、多治見市第22区、第31区、明和町第二町内会、根本地域民生児童委員協議会、根本校区青少年まちづくり市民会議の人たちを始め、広く住民の皆さんに呼びかけ、平成23年5月21日のプレワークショップをかわきりに、24年5月19日までに6回のワークショップを重ねました。

このワークショップでは、参加者65人の一人一人が「熱く語り合い」、6つのテーマに絞って1年かけて練り上げました。

ただ、このプランは、完成したものとは言えません。これからがスタートだと考えております。「地域力向上プラン」には、終わりがあるとは思えませんし、一部のものだけでつくり上げるべきものではないと思うのです。「何か起きた時」に地域が一丸となって、その物事に立ち向かえるかが「地域力」なのではないでしょうか？

そのためには、「できることから始め」「失敗を重ねつつ次にチャレンジ」することなのだと思うのです。そして常に語り合うことだと思うのです。私たちがこの地域に住み続ける永遠の「テーマ」として、皆さんに語り継ごうではありませんか。

それが、この『根本校区地域力向上推進会議』なのです。

この会は、広く門戸を開けて居ります。多くの方が集い「いかに住みよい地域をつくるか」について語る場となればと思っています。

もう一度、呼び掛けます。これからでも遅くはありません。この会議に参加してみませんか？





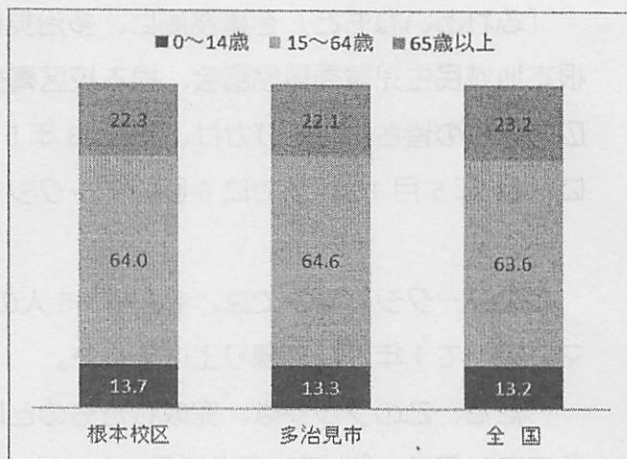
1. 根本校区の概要と地域ニーズ

1) 位置・人口

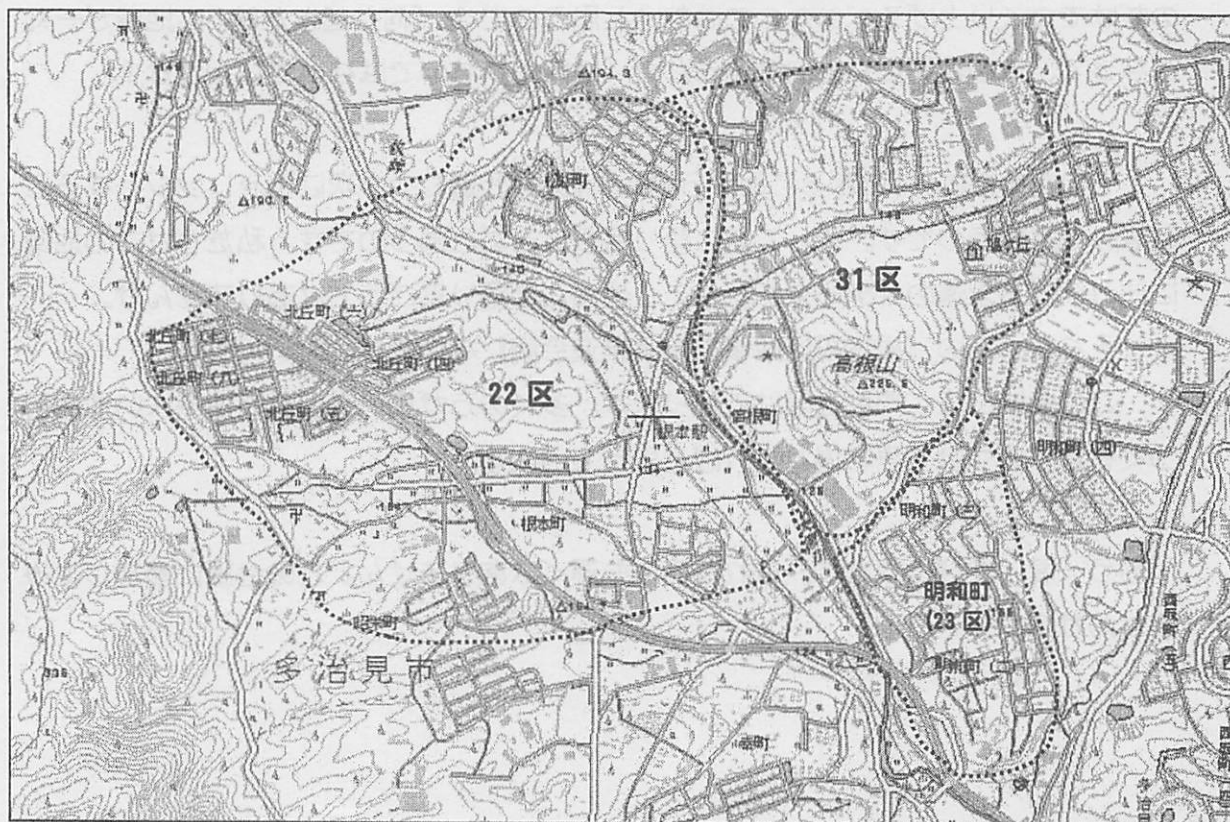
根本校区は、多治見市の北部、可児市と隣接し、大原川とその支川沿いの集落と丘陵地帯に開発された住宅団地が広がる地域です。町名では、根本町、西山町、北丘町、松坂町、高根町、昭栄町と旭ヶ丘と明和町の一部が、区では、22区、31区、23区の一部（明和町）が校区の範囲となっています。

平成23年の人口は12,473人、世帯数は4,697世帯で、人口は近年横ばいですが、世帯数は増加しています（前年比93世帯増で市内校区では一位の増加数）。

高齢化率は22.3%と市全体とほぼ同じ、年少(0~14歳)人口割合は13.7%と市全体よりやや高くなっています。



▲ 年齢3階級別人口の比較 H23.4.1



▲ 根本校区の範囲概観地図

※区の範囲は大まかな区域です。



2) 世帯の特徴

平成 23 年 8 月に実施したアンケート調査結果 (全世帯対象・回収率 79%) に基づく。

- **家族構成**…20～40 歳代の世帯を中心に「夫婦と子ども」世帯が多くなっています。60 歳以上の世代は「夫婦のみ」が一番多くなっています。。「70 歳以上」になると「ひとり暮らし」の割合も約 18%あります。

		合計	年齢					
			30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70 歳以上
家族 構成	夫婦と子ども	1134 38.7%	31 75.6%	219 67.0%	288 66.1%	261 49.9%	247 28.6%	77 16.8%
	夫婦のみ	764 26.1%	2 4.9%	26 8.0%	19 4.4%	116 22.2%	389 45.0%	198 43.2%
	ひとり暮らし	205 7.0%	0 0.0%	10 3.1%	12 2.8%	22 4.2%	69 8.0%	82 17.9%
	3世代世帯	295 10.1%	2 4.9%	44 13.5%	77 17.7%	67 12.8%	66 7.6%	35 7.6%
	母子・父子家庭 親と夫婦	152 5.2%	2 4.9%	16 4.9%	25 5.7%	29 5.5%	52 6.0%	25 5.5%
	その他	57 1.9%	2 4.9%	4 1.2%	6 1.4%	14 2.7%	22 2.5%	9 2.0%

- **自宅種類**…戸建て住宅が約 85%と大半を占めています。

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	戸建て住宅	2,508	85.6
2	集合住宅・マンション	100	3.4
3	民間賃貸住宅	27	0.9
4	市営住宅・社宅	18	0.6
	不明	278	9.5

- **居住年数**…20 年以上の居住年数の世帯が約 57%を占めています。しかし、年代別では 20～30 歳代では 5 年未満という世帯が約 40～50%となっています。

		合計	年齢					
			30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70 歳以上
居住 年数	1年未満	49 1.7%	6 14.6%	21 6.4%	8 1.8%	6 1.1%	5 0.6%	2 0.4%
	1年以上5年未満	217 7.4%	14 34.1%	110 33.6%	34 7.8%	25 4.8%	25 2.9%	7 1.5%
	5年以上10年未満	254 8.7%	6 14.6%	89 27.2%	92 21.1%	31 5.9%	27 3.1%	8 1.7%
	10年以上20年未満	500 17.1%	7 17.1%	61 18.7%	195 44.7%	96 18.4%	92 10.6%	41 9.0%
	20年以上30年未満	781 26.6%	6 14.6%	20 6.1%	61 14.0%	234 44.7%	305 35.3%	131 28.6%
	30年以上	882 30.1%	1 2.4%	23 7.0%	40 9.2%	125 23.9%	408 47.2%	264 57.6%

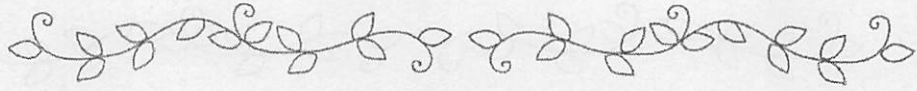


3) 地域に対する住民の評価

- **校区全体**…評価が高い項目は、「自然環境」「ごみ出しマナー」「近隣関係」「地域行事」で、評価が低いのは「高齢者・障がい者の環境」「防犯」「交通の利便性」となっています。

	校区の評価	校区の評価				点数
		そう思う 10点	どちらでもない (わからない) 0点	そう 思わない -10点	不明 0点	
高評価 項目	自然が豊かで緑などの環境がよい	1,912 65.2	703 24.0	157 5.4	159 5.4	6.0
	ゴミ出しなどのマナーがよい	1,669 57.0	870 29.7	244 8.3	148 5.0	4.9
	近所づきあいや近隣関係がうまくいっている	1,226 41.8	1,296 44.3	247 8.4	162 5.5	3.3
	地域の行事（お祭り、運動会等）が盛んである	1,119 38.2	1,323 45.2	303 10.3	186 6.3	2.8
低評価 項目	災害の不安がない	753 25.7	1,028 35.1	973 33.2	177 6.0	-0.8
	病院などの医療機関が利用しやすい	784 26.7	925 31.6	1,037 35.4	185 6.3	-0.9
	駐車・駐輪のマナーがよい	454 15.5	1,371 46.7	914 31.2	192 6.6	-1.6
	通勤、通学など交通手段が便利である	628 21.4	975 33.3	1,143 39.0	185 6.3	-1.8
	防犯上の不安がない	433 14.8	1,216 41.5	1,102 37.6	180 6.1	-2.3
	高齢者・障がい者が生活しやすい	252 8.6	1,158 39.5	1,338 45.7	183 6.2	-3.7

- **年代別**…若い世代と年配の世代で評価が分かれる項目があります（世代間ギャップ）。若い世代で年配の世代より評価が低いのは、「子どもの教育や子育て環境」「防犯」であり、年配の世代で若い世代より評価が低いのは、「生活の利便性」「高齢者・障がい者の環境」です（次ページ上表参照）。
- **地域別**…その立地条件や自治条件から地域によって評価が分かれる項目があります（地域間ギャップ）。特に、「買い物・通院・通勤の利便性」はプラス評価とマイナス評価に分かれています。地域ごとに他の地域より特に評価が高い項目は、昭栄町の「自然環境、ごみ出しマナー」、高根町の「生活の利便性、通勤・通学」、根本町の「地域行事、生活の利便性、通勤・通学」、松阪町の「公園」、明和町の「近隣関係」「地域行事」「地域活動」となっています（次ページ下表参照）。



▼ 根本校区の評価（年代別）

校区の評価	全体	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
自然が豊かで緑などの環境がよい	6.0	5.1	6.1	6.5	6.7	6.2	7.0
ゴミ出しなどのマナーがよい	4.9	4.1	4.2	5.2	4.9	5.1	6.5
近所つきあいや近隣関係がうまくいっている	3.3	4.4	2.9	3.5	2.7	3.7	4.7
地域の行事（お祭り、運動会等）が盛んである	2.8	3.2	2.6	3.0	2.3	3.1	3.6
自治会等の地域活動が盛んである	1.8	2.2	2.2	2.2	1.7	1.9	2.1
公園の清掃などの美化活動が盛んである	1.6	3.9	1.6	2.2	1.7	1.3	2.0
子どもの教育や子育ての環境がよい	1.5	0.7	-0.5	1.1	1.4	2.5	2.9
公園等が近くにあり、遊びや散歩に便利である	0.3	1.2	0.1	0.0	0.2	0.3	0.6
買い物など日常の生活に便利である	0.0	2.0	1.5	0.7	-0.1	-0.4	-1.3
災害の不安がない	-0.8	-1.2	-2.8	-1.9	-1.3	0.0	1.0
病院などの医療機関が利用しやすい	-0.9	-0.2	-1.4	-1.6	-1.9	-0.7	0.4
駐車・駐輪のマナーがよい	-1.6	-0.2	-1.4	-1.5	-2.7	-2.1	-0.6
通勤、通学など交通手段が便利である	-1.8	-1.2	-2.2	-1.7	-2.1	-2.0	-1.8
防犯上の不安がない	-2.3	-4.4	-3.4	-2.8	-3.0	-2.2	-0.9
高齢者・障がい者が生活しやすい	-3.7	-2.2	-4.2	-3.9	-4.7	-4.6	-2.4

▼ 根本校区の評価（地域別）

※西山町は回答数が少ないため参考情報である。

校区の評価	全体	旭ヶ丘	北丘町	昭栄町	高根町	〔西山町〕	根本町	松坂町	明和町
自然が豊かで緑などの環境がよい	6.0	6.3	6.0	7.6	5.2	8.6	6.7	6.0	5.6
ゴミ出しなどのマナーがよい	4.9	5.0	4.6	6.7	3.3	6.4	4.9	5.1	5.1
近所つきあいや近隣関係がうまくいっている	3.3	3.8	2.6	3.7	2.2	1.4	3.9	3.0	4.2
地域の行事（お祭り、運動会等）が盛んである	2.8	1.3	2.2	3.4	0.7	-0.7	4.0	1.4	6.7
自治会等の地域活動が盛んである	1.8	0.3	2.2	2.2	0.2	1.4	2.3	0.4	5.2
公園の清掃などの美化活動が盛んである	1.6	0.3	2.6	0.9	1.0	2.1	2.9	0.7	2.6
子どもの教育や子育ての環境がよい	1.5	1.9	1.3	1.5	1.1	2.9	2.4	1.1	2.0
公園等が近くにあり、遊びや散歩に便利である	0.3	-1.2	0.7	0.1	-0.4	1.4	-0.5	1.4	0.5
買い物など日常の生活に便利である	0.0	-3.2	-1.0	1.5	3.2	-3.6	4.1	0.8	-1.6
災害の不安がない	-0.8	0.3	-0.8	-1.1	-1.8	-5.7	-0.6	-1.7	-0.4
病院などの医療機関が利用しやすい	-0.9	0.5	-3.0	-3.0	1.1	-0.7	-0.5	0.4	-2.0
駐車・駐輪のマナーがよい	-1.6	-0.3	-3.5	-0.2	-4.0	-2.9	-1.3	-1.2	-1.1
通勤、通学など交通手段が便利である	-1.8	-3.8	-3.6	-2.4	1.6	-7.1	1.0	-0.3	-3.2
防犯上の不安がない	-2.3	-1.7	-3.5	-2.1	-2.0	-5.0	-2.3	-2.1	-2.3
高齢者・障がい者が生活しやすい	-3.7	-3.7	-4.9	-4.0	-2.3	-2.9	-1.8	-4.2	-4.7

凡例： 他地域より相対的に評価が高い箇所 他地域より相対的に評価が低い箇所



4) 地域の将来像に対する住民の意見

望む将来像は、「高齢者や子どもが安心して暮らせるまち」が、どの年代でも1位となっていますが、「近所づきあいが盛んなまち」「相談や助け合いができるまち」など住民どうしの関係性に関わるものは年代間にギャップがみられます。

	合計	年齢						
		30歳未満	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
望む将来像	高齢者や子どもが安心して暮らせるまち	2144 73.1%	35 85.4%	260 79.5%	320 73.4%	409 78.2%	650 75.2%	329 71.8%
	地域の秩序が維持されているまち	1567 53.5%	19 46.3%	194 59.3%	257 58.9%	316 60.4%	482 55.8%	210 45.9%
	相談や助け合いができるまち	1190 40.6%	13 31.7%	124 37.9%	142 32.6%	214 40.9%	368 42.6%	240 52.4%
	近所づきあいが盛んなまち	710 24.2%	6 14.6%	70 21.4%	88 20.2%	102 19.5%	226 26.2%	168 36.7%
	地域活動や行事が盛んなまち	570 19.4%	5 12.2%	64 19.6%	69 15.8%	81 15.5%	193 22.3%	119 26.0%
	地域の教育・文化の水準が高いまち	570 19.4%	8 19.5%	92 28.1%	80 18.3%	89 17.0%	171 19.8%	92 20.1%

5) 課題と感じていること

- **年代別**… 概ね上位の課題は共通しますが、優先順位が異なり、39歳以下は「大雨洪水・地震の自然災害」、40~49歳は「通勤・買い物交通手段」、50~69歳は「ペットの飼育マナー」、70歳以上は「介護問題」となっています。

	合計	年齢別					
		30歳未満	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
ペットの飼育マナー	928 29.7%	4 9.8%	84 25.7%	115 26.4%	180 31.7%	332 37.7%	162 35.4%
高齢要介護者の増加、介護問題	872 29.8%	5 12.2%	43 13.1%	101 23.2%	166 31.7%	326 37.7%	183 40.1%
大雨洪水や地震などの自然災害	763 26.0%	17 41.6%	98 30.3%	122 28.0%	159 30.4%	217 25.1%	105 22.9%
通勤・通学・買い物などの交通手段	760 25.9%	8 19.5%	78 23.9%	129 29.5%	141 27.0%	237 27.4%	131 28.6%
近隣騒音・悪臭、駐車・駐輪マナー	643 21.9%	8 19.5%	72 22.0%	107 24.5%	143 27.3%	221 25.6%	63 13.8%
痴漢や空き巣などの犯罪	593 20.2%	4 9.8%	66 20.2%	78 17.9%	141 27.0%	183 21.2%	92 20.1%
公園や道路環境（散乱ごみ）	517 17.6%	6 14.6%	76 23.2%	73 16.7%	83 15.9%	162 18.8%	87 19.0%
自治会等の地域活動の担い手不足	431 14.7%	4 9.8%	27 8.3%	60 13.8%	91 17.4%	161 18.6%	70 15.3%



- **地域別**…地域別の課題のトップは、北丘町・昭栄町・根本町・明和町が「ペットの飼育マナー」、旭ヶ丘・西山町が「通勤・買い物交通手段」、高根町が「騒音・悪臭・駐車・駐輪マナー」、松阪町が「大雨洪水・地震など自然災害」というように、考える優先順位が異なります。

	合計	旭ヶ丘	北丘町	昭栄町	高根町	西山町	根本町	松阪町	明和町
ペットの飼育マナー	928	150	211	49	20	4	148	163	143
		32.8%			15.4%	28.6%		28.0%	
高齢要援護者の増加、介護問題	872	147	186	29	28	4	123	181	129
	29.8%	32.1%	34.1%	22.1%	21.5%	28.6%	30.1%	31.0%	30.7%
大雨洪水や地震などの自然災害	763	113	132	44	37	5	131	185	80
	26.0%	24.7%	24.2%	33.6%	28.5%	35.7%	32.1%		19.0%
通勤・通学・買い物などの交通手段	760	166	187	30	12	8	60	138	131
	25.9%		34.3%	22.9%	9.2%		14.7%	23.7%	31.2%
近隣騒音・悪臭、駐車・駐輪マナー	643	64	190	25	44	6	99	107	85
	21.9%	14.0%	34.9%	19.1%		42.9%	24.3%	18.4%	20.2%
痴漢や空き巣などの犯罪	593	103	138	22	17	3	85	103	94
	20.2%	22.5%	25.3%	16.8%	13.1%	21.4%	20.8%	17.7%	22.4%
公園や道路環境（散らごみ）	517	80	110	24	28	3	71	105	69
	17.6%	17.5%	20.2%	18.3%	21.5%	21.4%	17.4%	18.0%	16.4%
自治会等の地域活動の担い手不足	431	54	69	9	17	3	77	108	75
	14.7%	11.8%	12.7%	6.9%	13.1%	21.4%	18.9%	18.5%	17.9%

6) 住民が力を合わせるとよいと考える活動

地域が抱える課題に対して住民が力を合わせる活動として多いのは1位「犯罪の防止」、2位「災害への備え」となっています。3位は年代によって「子育て・子どもの教育」と「高齢者福祉」に分かれています。

	合計	年齢					
		30歳未満	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
犯罪の防止	1534	24	183	260	318	455	204
	52.3%	58.5%	56.0%	59.6%	60.8%	52.8%	44.5%
災害への備え	1230	21	134	195	261	380	169
	42.0%	51.2%	41.0%	44.7%	49.9%	44.0%	36.9%
高齢者福祉の向上	994	9	67	115	196	347	202
	33.9%	22.0%	20.5%	26.4%	37.5%	40.2%	44.1%
公園・街路の清掃・美化	970	16	113	145	191	325	141
	33.3%	39.0%	34.6%	33.3%	34.6%	38.8%	30.8%
隣近所づきあい	942	8	108	119	150	306	199
	32.1%	19.5%	68.0%	27.3%	28.7%	35.4%	43.4%
子育て・子どもの教育環境	738	17	168	159	123	173	72
	25.2%	41.5%	51.4%	36.5%	23.5%	20.0%	15.7%
駐車・駐輪マナー向上	717	6	75	130	159	239	80
	24.5%	14.6%	22.9%	29.8%	30.4%	27.7%	17.5%
ゴミ出しルール徹底	631	10	48	91	134	208	101
	21.5%	24.4%	14.7%	20.9%	25.6%	24.1%	22.1%
障がい者福祉の向上	429	3	49	59	77	136	79
	14.6%	7.3%	15.0%	13.5%	14.7%	15.7%	17.2%
青少年の健全育成	376	6	50	65	64	122	52
	12.8%	14.6%	15.3%	14.9%	12.2%	14.1%	11.4%
スポーツ・文化活動活発化	270	1	28	41	49	99	43
	9.2%	2.4%	8.6%	9.4%	9.4%	11.5%	9.4%
その他	30	0	5	5	4	10	4
	1.0%	0.0%	1.5%	1.1%	0.8%	1.2%	0.9%



2. 根本校区のめざす将来像

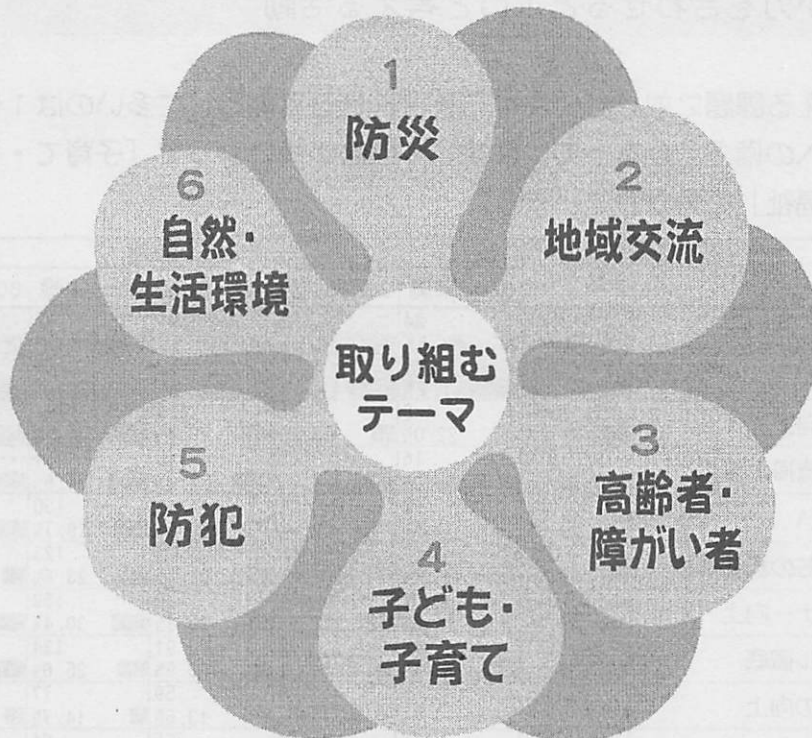
1) 根本校区の将来像 (キャッチフレーズ)

第4回ワークショップに参加した住民から出された24のアイデアから、「やわらかい」、「みんなが理解できる」という理由から、次のキャッチフレーズに設定しました。

「みんなで育てる 明るいまちづくり」

2) 取り組むテーマ

根本校区の課題を解決し、めざす将来像を実現するために、アンケート調査結果で明らかになった住民ニーズを踏まえ、地域力向上を図り取り組むテーマを、「防災」「地域交流」「高齢者・障がい者」「子ども・子育て」「防犯」「自然・生活環境」に設定しました。





3. 取り組みテーマごとの活動方針

6つの取り組みテーマごとに、住民ニーズ、目標とする将来像（スローガン）、優先的な取り組み「はじめの三歩」、みんなで出し合った取り組み提案一覧をまとめました。それぞれの項目の意味は、以下に示すとおりです。

今後、住民ニーズをもとに、目標とする将来像をめざして、みんなで出し合った取り組み提案の中で優先順位が高いと考える「はじめの三歩」から取り組んでいきます。

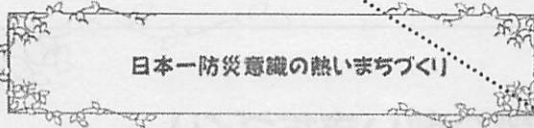
取り組みテーマ1

「防災」

1) 住民ニーズ

- ① 住民の意識…マイナス評価「-0.8点」、10位/15項目、30代・高槻町で最低評価
- ② 課題認識度…「大雨洪水や地震などの自然災害」29.8%・2位、松坂町で1位
- ③ 協力意識度…「災害への備え」42.0%・2位、30歳未満で最大51.2%
- ④ 具体的な声…「災害時の避難場所が狭い、遠い、ない」「防災無線の放送が全く聞き取れない」「大原川の草木が水が出た時、流れを踏がないから心配」、「1人の命もなくなる災害に勝つまちづくりをして欲しい」など

2) 目標とする将来像（スローガン）



3) 「はじめの三歩」～優先的な取り組み

1 組織の確立

区・町内の自主防災組織の見直し運動を行い、出来る体制を作る。

2 現状把握

危険箇所の点検を、小学校、中学校、町内会、PTA、老人クラブ、消防団、交通安全協会等の協力を得て、実施する。また、弱者対策のため、町民啓蒙活動もめざす。

3 訓練の実施

金戸安西運動を年1回実施し、実施する。救命処置講習会を年1～2回開催する。土質改良を促進し、雨の被害に対処する。

4) みんなで出し合った取り組み提案一覧

区	見出し	具体的取り組み内容(提案)
日本一防災意識の熱いまちづくり	① 区・町内自主防災組織の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○防災委員の明確化 ○マニュアル作り(区・町内会ごと) ○町内自主防災組織の充実 ○区に防災基金を作る(町内防災組織を盛り入れて) ○町内自主防災組織のあり方見直し(毎年3年ごと)
	② 危険箇所の点検見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○地区危険箇所の点検・見直し ○危険箇所の確認 ○危険箇所の点検 ○危険箇所を全て見直し・確認しよう ○危険箇所をマップにマーク(町内マップ作り) ○ハザードマップの見直し作業(地形変化表1区/年はチェック) ○遊歩道の再点検を! ○地域、排水設備の整備(堰、川等)
	③ 危険点検と結果のマップづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ごとの防災訓練の充実(防火器・防火水筒) ○地域(条件)に水害 ○防災マップ(一冊でわかる) ○地域の防災マップ作り ○防災マップを常時倉庫に保管しておく
	④ 訓練実施の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○年2回の防災訓練の実施 ○防災訓練(年1回以上) ○防災訓練 ○常に訓練を怠らない ○危険箇所を重点的に習熟性 ○区の防災訓練の充実 ○過程での危険箇所 ○できる限り全員参加できる防災訓練の定期的開催 ○防災に対する意識を高める講演会 ○防災知識 ○防災訓練 ○災害避難の取り組み(あった時の備付け) ○避難場所への誘導方法

根本校区全世帯アンケート調査結果から、当該取り組みテーマに関するデータや意見を整理しています。①住民の評価には評価点数と15項目中の順位、②課題認識度には課題と感じている割合、③協力意識度には住民が力を合わせるとよい活動だと考える割合を記述し、併せて年代別地域別の特筆事項を付しています。④具体的な声には自由記入で出された生の意見等を取り上げています。

取り組みテーマごとの目標とする将来像を示しています。ワークショップで提案、合意された取り組みを進める上でのスローガンとなるものです。

目標とする将来像を実現するために、みんなで出し合った提案から、テーマグループが考えた優先的に行うべき、行いたいと考えた3つの取り組みです。今後、この「はじめの三歩」は、取り組んでいく中で、より具体化して取り組むとともに、状況に応じて見直したり、追加したりすることもあるものです。

プランづくりのワークショップの際に、参加者全員から出された提案をKJ法で分類・整理した具体的取り組み内容の一覧です。「はじめの三歩」のベースとなったものであり、今後の活動の具体化や見直しの参考にもなるものです。



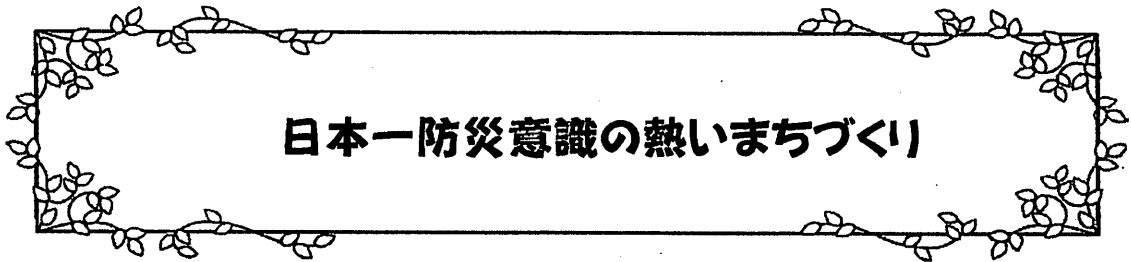
取り組みテーマ1

「防災」

1) 住民ニーズ

- ① 住民の評価…マイナス評価「-0.8点」、10位/15項目、30代・高根町で最低評価
- ② 課題認識度…「大雨洪水や地震などの自然災害」29.8%・2位、松坂町で1位
- ③ 協力意識度…「災害への備え」42.0%・2位、30歳未満で最大51.2%
- ④ 具体的な声…「災害時の避難場所が狭い、遠い、ない」「防災無線の放送が全く聞き取れない」「大原川の草木が水が出た時、流れを防がないか心配」、「1人の命もなくなる災害に勝つまちづくりをして欲しい」など

2) 目標とする将来像（スローガン）



3) 「はじめの三歩」～優先的な取り組み

1 組織の確立

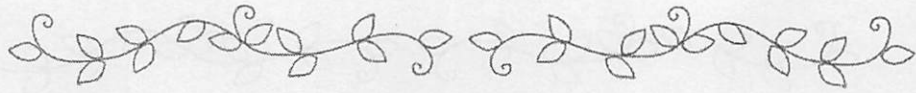
区・町内の自主防災組織の見直し活動を行い、出来る体制を作る。

2 現状把握

危険箇所の点検を、小学校、中学校、町内会、PTA、老人クラブ、消防団、交通安全協会の協力を得て、実施する。また、弱者対策のため、町籍簿作成をめざす。

3 訓練の実施

全戸安否確認を年1回設定し、実施する。救命処置講習会を年1～2回開催する。土嚢袋を設置し、雨の被害に対処する。



4) みんなで出し合った取り組み提案一覧

目標	見出し	具体的取り組み内容(提案)
日本一防災意識の熱いまちづくりをめざす!	① 区・町内自主 防災の見直し	◇防災要員の固定化 ◇マニュアル作り (区・町内会ごと) ◇町内自主防災組織の充実 ◇区に防災部会を作る (町内防災組織を組み入れて) ◇町内自主防災隊のあり方見直し (任期は3年位か)
	② 危険箇所の 点検見直し	◇地区危険箇所の点検・見回り ◇危険箇所の確認 ◇危険箇所の点検 ◇危険箇所を全て周知・確認しよう ◇危険箇所をマップにマーク(町内マップ作り) ◇ハザードマップの見直し作成 (地形変化を1回/年はチェック) ◇通学路の再点検を! ◇地域、排水設備の整備 (管、川 他)
	③ 設備点検と 結果のマップ づくり	◇地域の防災設備の充実 (消火器・防火水槽) ◇地図 (特に水害) ◇防災マップ (一目でわかる) ◇地域の防災マップ作り ◇防災マップを常時各所に掲示しておく
	④ 訓練実施の 強化	◇年2回の防災訓練の実施 ◇防災訓練 (年1回以上) ◇防災訓練 ◇常に訓練を怠らない ◇現場訓練を重ねて習慣性 ◇区の防災訓練の充実 ◇過程での防災訓練 ◇できる限り全員参加できる防災訓練の定期的実施 ◇防災に対する意識を高める講演会 ◇防災知識 ◇防災講話 ◇災害意識の取り組み (あった時の瞬時対応) ◇避難場所への誘導方法
	⑤ 避難場所の確保	◇ケガの少ない避難場所 ◇安全に集まるところの確保
	⑥ 意識の啓発	◇声かけ ◇隣近所の声のかけあい ◇関心を持つ ◇隣近所の呼びかけあい ◇隣近所と声をかけあう ◇近隣連携 ◇隣の家の人と顔を合わす (週1回) ◇連帯 ◇近所の弱者を日頃確認しておく ◇隣同士の情報交換する ◇町内のきめ細かい範囲で話し合う機会を持つ ◇学ぶ (自治、生き方、文化・芸術等) ◇人が歩く町
	⑦ 町籍簿の作成	◇町籍簿 ◇住民名簿の作成 ◇近隣の家庭構成の把握 (高齢者・身近な者)
	⑧ 日常の予防	◇組織より会話 ◇いつも家の周りに誰かがいる [井戸端会議的に] ◇「火の用心」カチカチとならして回る ◇火の用心夜回り ◇地域の見回り隊
	⑨ 情報の早期把握	◇情報 ◇情報を早期につかむ ◇情報連絡体制の確立 ◇無線と共に告知放送を一家に一台設置する ◇防災無線を最大限活用する ◇「今から下校します!見守りお願いします」と下校のお知らせを!



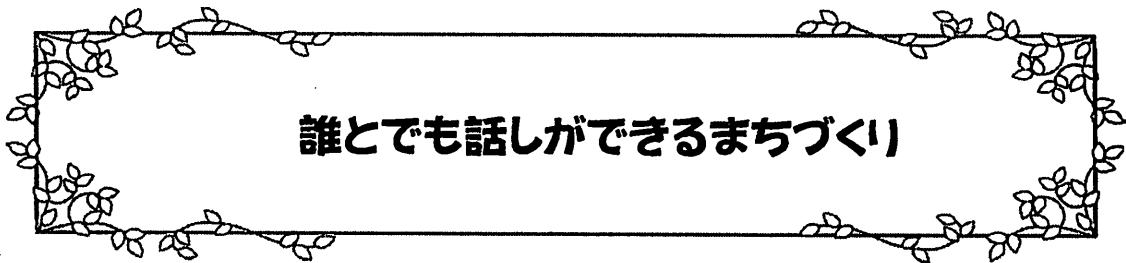
取り組みテーマ2

「地域交流」

1) 住民ニーズ

- ① 住民の評価…プラス評価「3.3点、2.8点」、2位、3位/15項目、明和町で高評価
- ② 課題認識度…「自治会等の地域活動の担い手不足」14.7%・8位、松阪町で5位
- ③ 協力意識度…「隣近所づきあい」32.1%・4位、70歳以上で最大43.4%
- ④ 具体的な声…「古い団地と新しい団地の交流がない」「大人どうしのあいさつ会釈等がほとんどない」「近所づきあいがいい」「子どもから大人まで遊べる公園を作り交流でき明るく活気のある地区になるといい」など

2) 目標とする将来像（スローガン）



3) 「はじめの三歩」～優先的な取り組み

1 趣味に関する情報収集

いつ、どこで、誰が、何を希望しているのか把握するため、知人、友人、町内会、班にアンケートする。

2 地域サロンを進める

集会所でコーヒーを提供して、グループを作って、雑談、趣味の活動、コンサート等を行う。丸テーブル・椅子など設備を良くして、明るい参加しやすい環境を作る。

3 広報活動の充実

募集の掲示板、ポスターをスーパー、コンビニなどに貼る。定期的に広報を出す。口コミを利用する。



4) みんなで出し合った取り組み提案一覧

目標	見出し	具体的取り組み内容(提案)
誰とでも話ができるまちづくり	① 近所づきあい	◇話してみる勇氣 ◇一人一人の勇氣と心を出し合える ◇上手な近所づきあい ◇小学生の通学時に見送る ◇人の秘密を話さない ◇悪口を言わない
	② 公報	◇地域の公報をこまめに行う ◇回覧はポストでなくて手渡しを ◇スーパー・バス停などに意見箱を設置する
	③ 話題	◇共通の意識・話題(課題)を見つける ◇話題 ◇個々の研鑽 ◇読書活動
	④ リーダー	◇リーダー育成の仕組みづくり ◇年齢差を感じさせないお互いの配慮 ◇誰もが主役になる ◇好きな事この指とまれ運動
	⑤ 行事	◇世代を越えた対話作り ◇楽しみながらの交流活動 ◇地域の会合を多く持つ ◇校区全体で行う行事を(多世代で行える) ◇行事参加率を上げる ◇区主催行事時に「旗・のぼり」を立てアピール(50本位は) ◇地域の行事を通じて多くの人と知り合う ◇町内の行事に参加できる様にする ◇地域の親睦団体・集まりへの参加をお誘いする ◇地域行事(お祭り、盆踊り等)への積極的な参加
	⑥ 趣味の交流	◇同好会(クラブ)組織 ◇公園にベンチなど人が集いあえる場所づくり ◇(サロン)行事に声をかけあって参加する ◇小サロンを進める(班単位くらいで) ◇興味ある行事 ◇根本校区の趣味の大会または競技をやる ◇各イベントに出来るだけ顔を出す ◇趣味の輪を広げる ◇地域の特色あるイベントを作る ◇町内会でのイベント開催 ◇区内のお祭り開催 ◇地域の人をイベントにひっぱり出す
	⑦ 交流場所	◇25年オープンの根本交流センターの利用 ◇公民館等の利用 ◇公民館活動の活発化 ◇みんなで交流できる機会と場所を作る ◇場(場所、機会、人集め) ◇気楽に顔を合わせる場所
	⑧ あいさつ	◇顔を合わせたら挨拶しよう ◇信頼・挨拶・笑顔・マナー ◇会った人に挨拶をする習慣を ◇まず隣とのつきあいから ◇行きかう人とあいさつする ◇明るいあいさつ(誰とでも)の心がけ ◇挨拶運動の推進 ◇あいさつ標語・看板 ◇あいさつ運動 ◇日常のあいさつから ◇あいさつ運動(誰とでも) ◇まず誰とでもあいさつする ◇話す話せる事が聞く聞かせる対話



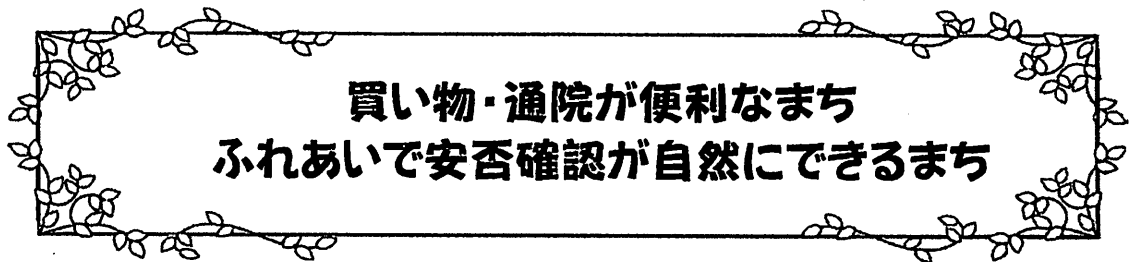
取り組みテーマ3

「高齢者・障がい者」

1) 住民ニーズ

- ① 住民の評価…マイナス評価「-3.7点」、15位/15項目、50代・北丘町で最低評価
- ② 課題認識度…「高齢要援護者の介護問題」29.8%・2位、70歳以上で40.0%・1位
- ③ 協力意識度…「高齢者福祉の向上」33.9%・3位、70歳以上で最大44.1%
- ④ 具体的な声…「高齢者同志が介護せざるを得ない」「買い物・病院へ行くことが大変不便」「高齢者や障がい者が1人で生活できるようにきめ細かいサポートが必要」「知的障害者も参加できるクラブあるといい」など

2) 目標とする将来像（スローガン）



3) 「はじめての三歩」～優先して取り組む活動

1 弱者を知る

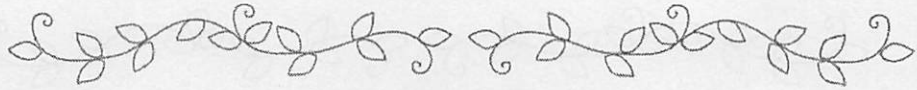
町内会組織、ボランティアグループから情報を入手して、弱者の実態を把握する。

2 地域組織の活用

町内会、ボランティア団体（ふれあいねもと、町づくりなど）と連携して、高齢者・障がい者を見守る。

3 まちぐるみの支援

町内会単位で、サロン活動（井戸端会議）を拡大して、支援する。



4) みんなで出し合った取り組み提案一覧

目標	見出し	具体的取り組み内容(提案)
買い物・通院が便利なまち・ふれあいで安否確認が自然にできるまち	① 町ぐるみの支援	<ul style="list-style-type: none"> ◇年2回は一斉に安否確認の実施 ◇町内会のイベントを増やす ◇買い物デー、お散歩デー、お茶タイム、声かけデーを作る ◇楽しみ・買い物以外で 障がい者との交流会をする ◇障がい者の方の行事に参加、一緒に活動!
	② 地域組織の活用	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域連絡網の強化 ◇専門員が必要(安否確認) ◇民生委員と福祉委員との連携強化 ◇手助けの心があるじっと見つめる支援者に ◇ご近所同士の声かけ、助け合い→啓蒙するしかない
	③ 助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ◇助け合い運動 ◇小さな親切運動 ◇御用聞き当番 ◇隣との会話 ◇手を貸してあげる ◇常に手を貸せる意識を持つ ◇対象者への声かけ ◇声かけ運動 ◇高齢者宅への定期訪問 ◇高齢者宅を不用事なくとも訪問する ◇お互いに気軽に困った事をお願いできる雰囲気を持つ ◇あいさつを徹底する ◇近所の人と話をする様に心がける ◇全ての人がボランティア ◇お節介にならないお手伝い ◇隣近所で声が掛け合えるか(助け合えるか) ◇まず向三軒両隣のおつきあいができるよう
	④ 弱者を知る	<ul style="list-style-type: none"> ◇町籍簿の確立 ◇町内会の弱者を知る ◇高齢者のプライバシーは取り払う ◇地域の高齢者・障がい者を把握する(方法を考える) ◇弱者が「手助け」を呼びかけることの出来る社会の構築 ◇頑張る自立心と借す心のコミュニティ
	⑤ 買い物の共助	<ul style="list-style-type: none"> ◇買い物などバーゲン日にバスやタクシーで一緒に出掛ける ◇気軽に近所同士で乗り合わせ出掛ける ◇代行運動組織づくり ◇買い物、交通など助け合える
	⑥ 交通の公助	<ul style="list-style-type: none"> ◇交通機関の確保 ◇公共交通無料バス ◇お出かけバスの利用を進める ◇1月10日スタートのコミュニティバスの積極的な利用 ◇細かく動く乗物(バス、タクシー)がほしい ◇思いやりと交通の利便性 ◇小地域でスーパーと提携して車を出してもらう
	(意図確認)	<ul style="list-style-type: none"> ◇出掛けるときは門に行き先等をメモにして掛けておく



取り組みテーマ4

「子ども・子育て」

1) 住民ニーズ

- ① 住民の評価…プラス評価「1.5点」、7位/15項目、30代でマイナス評価
- ② 課題認識度…「子育て・子どもの教育環境」7.8%・12位、30代で25%…3位
- ③ 協力意識度…「子育て・子どもの教育環境」25.2%・6位、30歳代で最大51.4%
- ④ 具体的な声…期待する支援内容：1位「子どもや子育て家庭への声かけ54%」「通園・通学時の近所での見守り54%」、3位「子どもたちが参加できる地域の行事47%」、自由記入で多いのが「子どもが遊ぶ場所、公園がない」。

2) 目標とする将来像（スローガン）

子育て・親育ち、子どもがいきいきと生きるまち

3) 「はじめの三歩」～優先的な取り組み

1 あいさつ運動

いつでも、どこでも、だれにでも、ちょっと勇気を出して「おはようございます」「さようなら」の一言、あいさつは魔法のことば。町内で標語を募集し、通学路に立看板を設置する。

2 親子・多世代参加の地域行事の充実

流しそうめん、イモ堀り、餅つきなど地域の自然を生かした行事がさかんに行われているので、積極的に声をかけあい、参加して絆作りをしていく。

3 地域を見守る安全対策

子どもが明るく元気で安全に登下校できるよう見守り隊を強化し、学校と地域が一緒になって、みんなで子どもたちを見守る。



4) みんなで出し合った取り組み提案一覧

目標	見出し	具体的取り組み内容(提案)
子育て・親育ち、子どもがいきいきと生きるまち	挨拶運動	<ul style="list-style-type: none"> ◇挨拶・声かけ会話 ◇通学時の声かけを意識して行う ◇他人が気軽に声が掛けられるようにする ◇大人から子どもに声をかける ◇挨拶をしっかりする ◇子どもと大人がまず気軽にあいさつを交わす ◇子どもを気遣う気持ち ◇学校の先生方と接する機会を作る
	子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> ◇親が困った時助けてあげられるシステム ◇悩んでいる事を話し合えるシステム ◇良い環境=良い大人、自然で安全、文化的・芸術的 ◇自然と遊ばせよう ◇子どもが安心して生活できる町づくり
	施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇児童遊園を整備する ◇子どもの集う場所と大人の集う場所との共有 ◇若い人が集まる地域を作る ◇親子で楽しめるレジャー施設 ◇若い親子と老人のふれあい場(3代運動) ◇子どもの遊ぶ環境整備 ◇小公園・広場等遊び場の清掃等 ◇危険場所のない環境づくり ◇安全な遊び場の確保
	地域の行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇保護者と子ども主体の行事づくり(自分達力の発揮) ◇各行事・企画・運営の自立化 ◇一緒に出来る行事を増やす ◇子ども主役の行事をつくる ◇子どもが参加しやすい地域行事を多くする ◇町内会のイベントを増やす ◇区のイベントを増やす ◇世代間交流 ◇親子参加教室 ◇親の子育ての勉強会を作る
	道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもの自主性を伸ばす ◇子どもの自立と親の自立心 ◇自立を求めるとのガマン ◇育てる意識に手を貸さない ◇子ども・親に関わらずマナーに反する時は注意する ◇親同士で他人の子どもを叱れる雰囲気を作る ◇地域の子どものは地域の人で育てよう(皆でほめ叱ろう) ◇親がいなくても子は育つ
	親育ち	<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもを叱ろう(怒るのではなく叱る) ◇子ども目線で話をしよう ◇子どもより親のしつけから ◇子を育てるのは大人の役割 ◇早寝・早起きの親育ち運動
	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ◇生徒の通学バトロール隊 ◇地域で見守る ◇児童に関わる登下校時の見守り



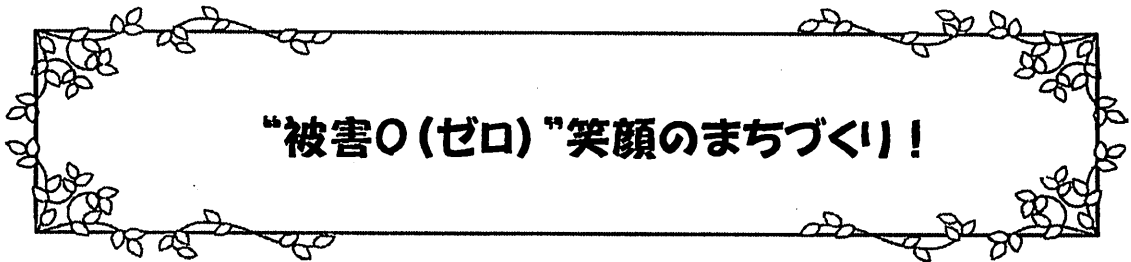
取り組みテーマ5

「防犯」

1) 住民ニーズ

- ① 住民の評価…マイナス評価「-2.3点」、14位/15項目、30歳未満・北丘町で最低
- ② 課題認識度…「痴漢や空き巣などの防犯」20.2%・6位、50歳代で最大27.0%
- ③ 協力意識度…「犯罪の防止」52.3%・1位、全年代で1位、50歳代で最大60.8%
- ④ 具体的な声…「歩道（道路）に植物が繁り、安全面・防犯面にも不安」「夜間うす暗い所が多く、防犯上心配」「治安が良く安心して住めるまちになるといい」など

2) 目標とする将来像（スローガン）



3) 「はじめの三步」～優先的な取り組み

1 防犯パトロール隊の結成

警察の指導（講習）のもと、活動を推進する。隊員数10名以上を確保する。

2 「防犯カメラはあなたの目」カメラの設置

設置場所の選定、調査を行う。

3 防犯に対する広告の掲示、回覧を増やす

実例を投稿、収集し、定期広報に掲載する。



4) みんなで出し合った取り組み提案一覧

目標	見出し	具体的取り組み内容(提案)
被害ゼロ笑顔のまちづくり!	① 防犯組織づくり (パトロール)	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域で青色パトを結成する ◇「子ども110番の家」との連携強化 ◇子ども、高齢者の事故をなくすためのボランティアを募る ◇見回り隊 ◇防犯パトロール隊の見直し(組織化) ◇地域内定期パトロールの実施 ◇目立つ服装でパトロールする ◇パトロールで不審者等に地域見守りを ◇警察との連携
	② 地域で監視	<ul style="list-style-type: none"> ◇見知らぬ人の怪しい挙動を監視する ◇町内ごとに見守る注意する ◇近所が仲良く変わった事があれば知らせる ◇近所の関係をよくする ◇不審者の情報連絡を班単位で密にする ◇隣近所とのコミュニケーションを図る ◇不審な車をチェックする ◇「防犯カメラはあなたの目」運動 ◇犬の鳴き声に注意(隣の家は我が家の番犬)
	③ 声かけ運動	<ul style="list-style-type: none"> ◇留守時の声かけ ◇声かけ運動 ◇隣人の声かけ ◇戸締まりの声かけ ◇何か変かなと思ったら遠慮なしに声をかける ◇近隣に声を掛け合える雰囲気作り ◇互いに声をかけあえるよう ◇隣人と仲良くする(関心を持つ) ◇出掛ける時に両隣に声をかけよう ◇定期的なマストからの呼びかけ
	④ 地域への投資	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域内主要箇所へ看板設置 ◇防犯に対する広告の掲示/回覧を増やす ◇危険箇所の確認 ◇校区内を今以上に明るくする(防犯灯などを増やす) ◇交番の設置をお願い ◇すぐに飛び込める家を作っておく(110番以外にも)
	④ 家への投資	<ul style="list-style-type: none"> ◇家の構造改善 ◇家の周辺の改善 ◇家の周りの見通しをよくする
	⑤ 心かけ	<ul style="list-style-type: none"> ◇戸締まり・鍵かけの徹底 ◇常に鍵をかけ見知らぬ人に用心しよう ◇防犯意識の徹底 ◇見知らぬ人に用心と近所に話そうそんな事 ◇閉ざされた社会vs開かれた社会 ◇回収車の動きに注意する(隣の家でも) ◇整理整頓の出来たまちづくり
	⑥ 教育・学習	<ul style="list-style-type: none"> ◇事例の紹介 ◇良い事・悪い事はっきりする ◇外国人に対する教育



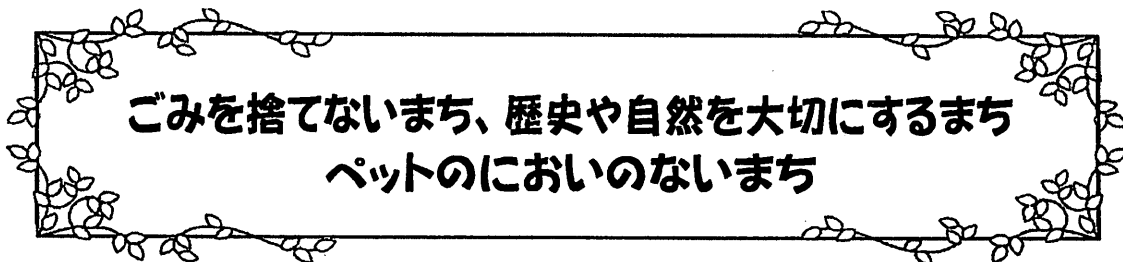
取り組みテーマ6

「自然・生活環境」

1) 住民ニーズ

- ① 住民の評価…プラス評価「6.0点」、1位/15項目、70歳以上・昭栄町で最高評価
- ② 課題認識度…「ペット飼育マナー」31.7%・1位、北丘町・昭栄町・根本町・明和町1位
- ③ 協力意識度…「公園・街路の清掃・美化」33.3%・4位、30歳未満で最大39.0%
- ④ 具体的な声…「大原川がきれいとはいえない」「蛍の時期に照明を落として欲しい」「ペットのマナーが悪い」、「自然は豊かであるが手入れがしていないため雑草など害虫が多い」「自然を味わうことのできるまちに」など

2) 目標とする将来像（スローガン）



3) 「はじめの三歩」～優先的な取り組み

1 美しい環境づくり

美しい自然にマッチしたゴミの落ちてない遊歩道を維持管理する心を持つ地域、ホテルの舞う根本川、大原川にするためにカワニナの住むきれいな川づくりをすすめる。

2 根本の歴史を学ぶ

校区内の文化遺産（高社山、大杉、ねもと焼き窯跡、牛岩様など）のマップを作り、語り部を招いて歴史を学ぶ。学童など若い世代にも学校を通して継承していく。

3 ペット飼育者への教育

「ペットを愛し、地域を愛し、良い環境を作る」を合い言葉に、講習会を行い修了証書の交付、犬の散歩証の活用、子どもへの情操教育などをすすめる。



4) みんなで出し合った取り組み提案一覧

ジャンル	見出し	具体的取り組み内容(提案)
ごみを捨てないまち、歴史や自然を大切にすするまち、ペットのにおいのないまち	① 個人の意識 への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ◇個人の意識の高揚 ◇日頃、環境意識の向上を図る ◇ゴミを拾う心を持つよう ◇ゴミを積極的に拾う努力をする ◇清掃週間の意識を持って参加しよう ◇常にきれいにしてゴミを捨てにくくする ◇ゴミを捨てられない環境にしておく ◇まずきれいにする→きれいな所にはゴミを捨てづらい ◇人のマナーに尽きる ◇地域内要所要所へ看板設置 ◇回覧板で注意を促す ◇回覧板の表紙でアピール
	② ごみ拾い実践 活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇自宅周辺からゴミをなくす(拾う) ◇我が家の周りからきれいにする ◇ゴミを見つけたらすぐ片付ける ◇みんなで地域清掃を行う ◇環境美化活動増やす ◇定期的なゴミ拾い活動の実施 ◇地域清掃活動の強化 ◇ゴミ拾い実践 ◇週に一度程度のゴミ拾い隊 ◇一斉清掃日の増加(3回~4回/年くらい) ◇日曜の朝、全員ゴミ拾い運動
	③ 子どもへの 環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもの教育-環境美化に子どもの参加を! ◇子どもと一緒にゴミ拾いをする ◇学校、地域を挙げての美化活動をする
	④ 地域の歴史 を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域の歴史を学ぶ勉強会 ◇地域の歴史を知る機会をつくる ◇地域の歴史を資料として残す-歴史的な古物展示の機会や場所の確保 ◇歴史などを巡るツアーを企画 ◇校区の歴史や自然をアピールしていく ◇地域で歴史を紹介し散策する ◇神社の祭り等に大いに参加し地元を知る
	⑤ 自然や環境 を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ◇資源を大切にす勉強会 ◇自然の恐ろしさの勉強 ◇自然破壊の怖さを学習(楽しく学べる様工夫する) ◇その値打ちを広く知らせる
	⑥ 規制・監視	<ul style="list-style-type: none"> ◇罰金制にする ◇「ポイ捨て」を見たら迷わず注意する ◇住民による管理 ◇当番制による監視 ◇美化目標を作る ◇美化モデル場所を設定する ◇歩道に吸い殻入れを設置する ◇放置「ウンチ」に罰則を!
	⑦ 美しい環境 を大切に	<ul style="list-style-type: none"> ◇川をきれいにしてホタルの多いまちにしよう ◇ホタル・トンボの棲むまちづくり ◇散歩道などを出来るところから整備する ◇花や緑を増やす(捨てにくくする) ◇生物全てが共存できるまちづくり
	⑧ 飼い主への 教育・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◇ペット同好会 ◇飼っている人同士で声を掛け合ってストップザウンチ ◇飼い主の教育(不合格×) ◇犬猫病院へのマナーについての教育依頼 ◇飼育者の講習会の開催 ◇捨て犬・猫は犯罪!との意識付け ◇ペットマナーの徹底 ◇人のマナー(飼い主の常識)
	⑨ 飼い主への 注意・声かけ	<ul style="list-style-type: none"> ◇マナーの悪い人に勇気を出し声かけ ◇うんち袋を持たない人を進んで注意 ◇犬の飼い主マナーと声をかけられる雰囲気を作る ◇ペットマナーも地域交流と同じ(注意できる環境づくり) ◇大体マナーを守らない人は特定できるので散歩時間にマークする
	⑩ふん掃除	<ul style="list-style-type: none"> ◇ペットふんを掃除する ◇うんちの後始末、しっこの後は水をかけておく
	⑪その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ペットを飼わない ◇家から出さない ◇捨て猫の処分 ◇犬の鳴き声はどうにもならないか?



4. プランの実施に向けて

1) 根本校区地域力向上推進会議

① 全体会議

全体会議は、推進会議に関わる人すべてが参加する原則として年2回開催するものです。各テーマグループの検討結果や課題についての調整と各実施団体への提言を行います。なお、この結果については、広く住民に周知し、より多くの人に参加できるように努めます。

② 当面の検討テーマ（グループ）

23年度ワークショップの検討結果である、「1 防犯」「2 地域交流」「3 高齢者・障がい者」「4 子ども・子育て」「5 防犯」「6 自然・生活環境」のテーマを、それぞれのグループでさらに具体策を検討し、次に掲げる役員会並びに全体会議に提言することとします。

なお、テーマ別のワークショップには、テーマ関連の団体、組織（⑤）の関係者の参加を呼び掛け、より地域力に繋がるものとなるよう努力することとします。

テーマ別の優先的な取り組み「はじめの三歩」の実施計画の立案や具体的な事業の企画をおこないます。取り組みの実施にあたっては、多くの根本校区住民の参加を得ながら活動を進めることとします。

③ 根本校区地域力向上推進会議 役員会

この推進会議を運営するために役員会（運営委員会）を置きます。役員15名で構成します。役員の内訳は次のとおりとします。

- ・ 22 区区長、31 区区長、明和町町内会長および各前任者（6名）
- ・ ふれあいねもと会長
- ・ 根本校区青少年まちづくり市民会議会長
- ・ 根本校区民政児童委員会会長
- ・ 6 テーマグループ代表（6名）

会長、副会長については、役員の内選とします。テーマグループの役員については、グループにおいての内選とします。

④ 事務局

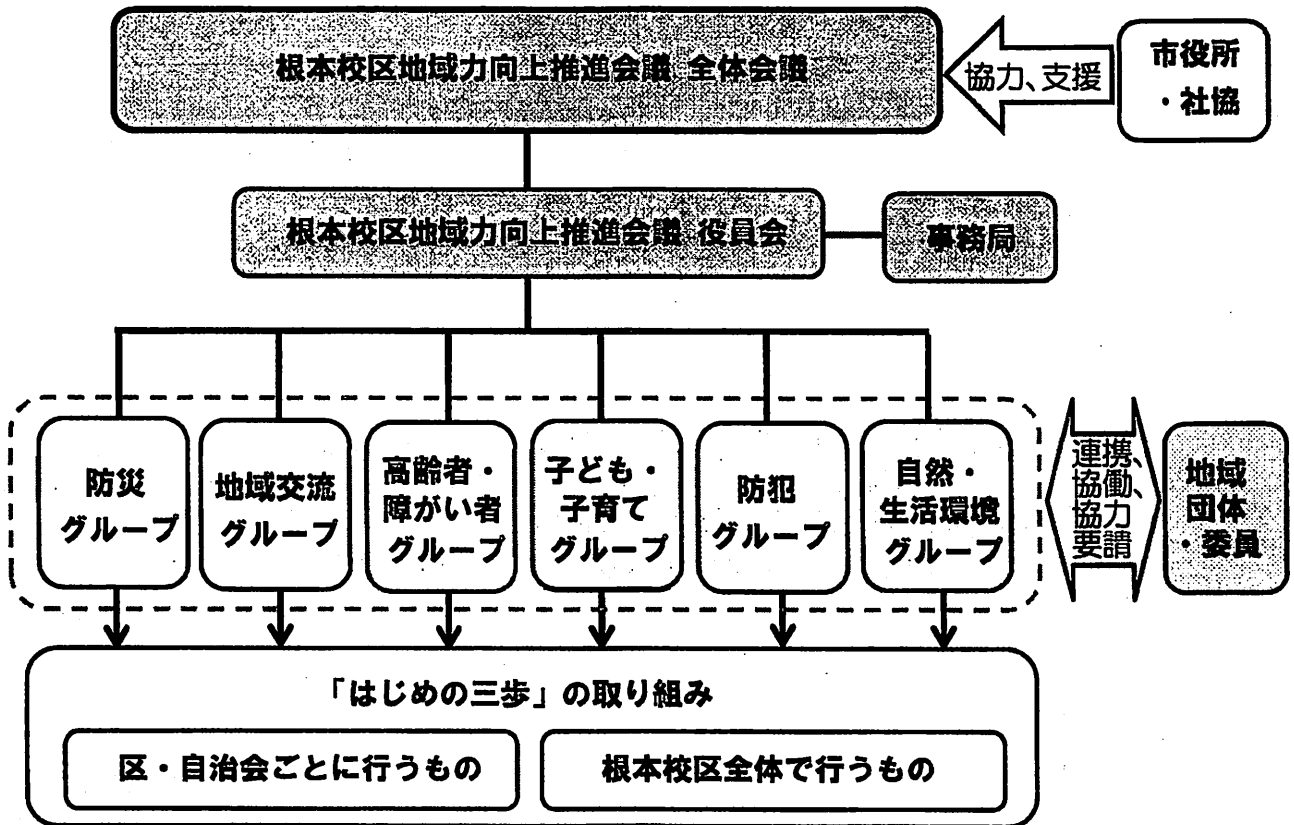
「ふれあいねもと」事務局長（前ふれあいねもと会長）および事務局次長（22区筆頭副区長）とします。



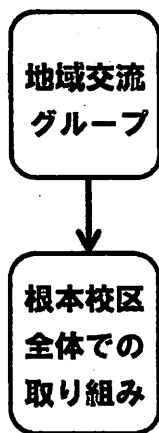
⑤ 関連地域団体・委員

消防根本分団、交通安全協会根本支部、根本小学校、同PTA、根本児童センター、22区看護師会、千歳会、高砂会、北丘会、あさひ会、愛郷会、勝手にお手伝い隊、根本校区見守り隊、小泉・南姫・北陵の3中学校、各町内会役員などが考えられます。

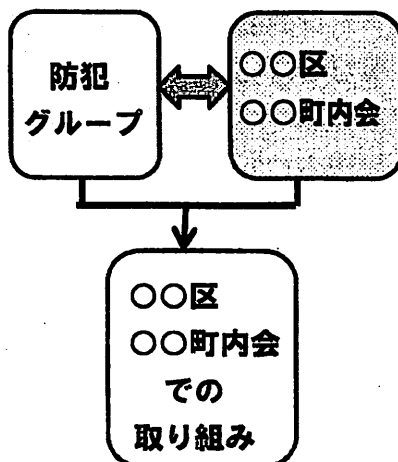
根本校区地域力向上プランの推進体制



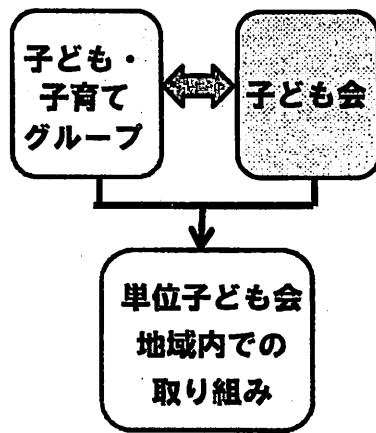
●展開ケース1



●展開ケース2



●展開ケース3





2) 財源の確保

当面の事務的な必要経費として、第2区が20,000円、第3区が5,000円、明和町が4,000円を負担する。

具体的な活動経費についてはこの会議の性格上、活動の主体は「区」となることから、各区において対応するものとする。

なお、公的なものについては下記のとおりとする。

- ・ 社会福祉協議会や多治見市役所の各種補助金を受ける
- ・ 公益団体による自治助成金、県・国のまちづくり関連委託を受ける
- ・ 財源を持ったNPO法人などと連携した協働を行う

3) 活動拠点

活動拠点として、次の3つの施設を有効に活用していきます。

① 根本公民館（平成25年3月迄）

2区の公民館で、根本駅近くで根本校区の概ね中央に位置している。50人程度が入れる講堂や会議室、和室などがあります。地域力向上プランづくりワークショップも当該施設を利用しています。

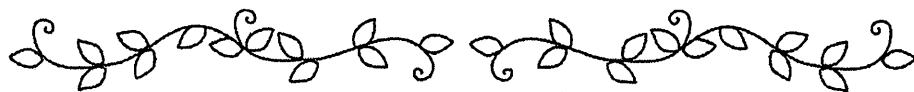
② ふれあいねもと事務所

根本公民館に隣接した「ふれあいねもと」の事務所です。少人数の会議ができるテーブル、椅子、コピー機などがあり、随時、世話人会、テーマグループ打合せなどへの利用が想定できます。

③ 多治見市根本市民センター（平成25年4月以降）

根本駅近くに平成25年4月オープンを目標に建設が進められている、市役所地区事務所、児童センター、公民館などが含まれる総合施設です。整備方針では、施設の目的を次のように定めています。

- ・ 多様な機能をもつことで、市民の利便性の向上
 - ・ 多世代の利用者の交流機能を創出
 - ・ 地域の拠点的功能を創出
 - ・ 地域で活動する組織や団体等の連携、交流機能を創出
 - ・ 公共サービスの集約化により、維持管理費を含めたコストダウンを図る
- より幅広い多様な利用ができる可能性や、指定管理業務を地域で受けることを通じて地域のニーズに沿った運営を図ることができるよう可能性があります。



4) 多治見市役所、社会福祉協議会

この会議の提唱者として、指導、提言、協力団体としての役割を果たすとともに、多治見市の他地域への波及効果を果たす。 (平成24年5月19日全体会議で了承)

■ 活動の参加者を増やす手立て (参考)

活動の参加者としては、①プランの推進側への参加者、②具体的な事業への参加者があり、それぞれの参加者を増やすための手立てとして、次のような方法等をとっていきます。

① プラン推進側への参加者

現在、地域力向上委員会のワークショップに参加しているプラン推進側といえるメンバーは30名程度であり、今後、負担や成果を分有しながらテーマグループ活動を行うためにはもっと人数を増やす必要があります。希望は、アンケートの自由記入欄にあったこのコメントです。

「この10年位で校区内の住民の連帯が高まってきた。“お互い様”の旗をあげてリタイア世代を中心に小さい活動を根気よく重ねれば新たな文化が生まれ住みやすいまちになる。」

また、「退職後にやってみたいこと(50歳代限定)で「ボランティア活動」と回答した住民=約16%(120人)」、「今後やってみたいこと(60歳以上限定)で「ボランティア活動」と回答した住民=約13%(230人)」となっています。

これらのことから、今後、プラン推進側への参加者を次の方法等で地道に増やしていきます。

- ・ テーマグループメンバーによる機会あるごとの勧誘
- ・ テーマに関するキーマンの招聘(例:子ども・子育てグループ→小学校校長)
- ・ 定期的な新メンバー受け入れイベントの開催
- ・ プランの内容と随時新メンバー募集を盛り込んだパンフレットの作成

② 具体的事業への参加者

より多くの校区住民に参加してもらうことは、単にテーマの課題の解決につながることに留まらず、参加をとおして、校区住民同士の関係性や絆が深まり、そのことが地域力を向上する基礎になります。そのため次のような方法で具体的事業への参加を促進します。

- ・ 既存の連絡ルート(広報、回覧板、全戸配付チラシなど)
- ・ テーマに関係する関連地域組織との連携
- ・ 新しい媒体の活用(例: SNSソーシャルネットワークサービス)



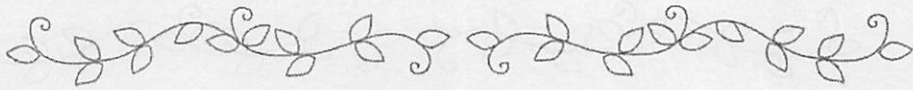
5. 資料

1) プラン策定経過

プラン策定に関する具体的な活動の経過は次のとおりです。

年月	内容
平成 23 年 2 月	主要メンバーによる先進都市事例視察（瀬戸市）
5 月	プレワークショップ「語ろう！共助のまちのビジョン～予告編～」 ◇平成 23 年度から始まる「地域福祉力向上のための行動計画づくり」の目的・内容・進め方を体験的に理解する。 ◇「共助のまち」のイメージを参加型で共有し、参加型手法の理解と、共通のよりよい未来への認識を高める。 ◇地域住民に行うアンケートの内容について、検討する。
6～8 月	地域住民アンケート実施・回収・分析
10 月	第 1 回ワークショップ「語ろう！共助のまちのビジョン」 ◇地域力向上プランの目的・内容・進め方を確認する。 ◇アンケートの結果分析を共有し、よりよいまちにするための取り組みテーマと、望むまちの将来像（ビジョン）を検討する。
11 月	第 2 回ワークショップ「探ろう！ビジョン達成のために必要なもの」 ◇テーマごとに、ビジョンを達成するために役立つ取り組み（施策）を全員で検討する。
平成 24 年 1 月	第 3 回ワークショップ「学ぼう！住民主体の地域づくり活動」 ◇住民主体で地域力向上に取り組む先進都市の実践から、活動内容、取り組み方法などを学ぶ。 ◇テーマグループごとに、優先順位の高い 3 つの取り組みを選ぶ。
2 月	第 4 回ワークショップ「深めよう！私たちの地域力向上プラン」 ◇最終的に地域力向上プランをまとめ、来年度からの推進方法について検討する。
3 月	第 5 回ワークショップ「始めよう！私たちの地域力向上プラン」 ◇実施体制を検討、確認し、次年度からプランを実践に移していけるように体制を整え、仲間への働きかけが始められるようにする。 ※その後代表者で集まり、実施体制などについて協議を行った。

次ページ以降に、主なワークショップの開催報告「かわらばん」を載せます。



▼ プレワークショップかわらばん (表)

根本校区・地域力向上プランづくり かわらばん 平成 23 年 7 月発行



開会あいさつ

◆ふれあいねもと 若尾幸雄会長

『根本校区・地域力向上プランづくり』は市のモデル事業として実施され、わたしたち「ふれあいねもと」が事務局をしています。地域力向上のためのワークショップを体験してみてください。

◆多治見市高齢福祉課 春田 正孝課長代理

東日本大震災をみても、地域や隣近所の助け合いが大切だと実感されたと思います。高齢者保健福祉計画の見直し時期に入っており、根本校区の地域力向上プランづくりが計画にとり入れられたらと思っています。



“地域力=ご近所の底力” 10年後のビジョンを描こう!!

根本校区・地域力向上プランづくり
プレワークショップ
「語ろう! 共助のまちのビジョン〜予告編〜」
を開催しました!

5月21日、根本校区公民館にて、多治見市地域力向上事業「根本校区・地域力向上プランづくり」のプレワークショップが行われました。人々が生きるステージである「まち」・地域福祉の要である「共助」の基盤を住民主体で築くため、参加者全員で意見を出し合い、話し合う場となりました。今回の仮版では、その様子を紹介します。



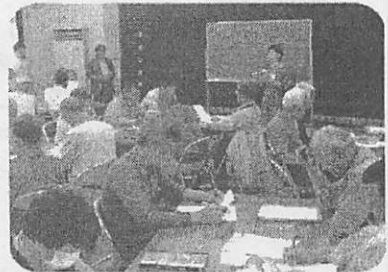
平成 23 年 7 月
発行：根本校区地域力向上推進委員会
多治見市北丘町 1-73
TEL (0572) 77-6605
編集：14ED-国際理解教育のそ

ワークショップとは?

対等な立場で集まった人々が、大切なテーマについて考えを深め合う会。お互いの持つ豊かな経験や知恵から学び合い、さらに新しいアイデアを創造共有する場です。

- ・リラックスして楽しく参加!
- ・限られた時間でアイデア共有!
- ・出会い、学び、つながる場!

「住民主体のまちづくり」とは、まちの仕組みなどを行政や一部の人が作るのではなく、地域に住む人々が主役となってみんなで作り上げていくこと。そのために、今回の話し合いは、一人ひとりが対等な立場で関わり意見を話し合うことができる「参加型ワークショップ」という形で行いました。いざというときのためだけでなく、日頃から誇りと愛着を感じ、誰もが気持ちよく、安心して暮らすことのできる「まち」を、私たちがのために、私たちの手で形作るために、参加者一人ひとりが主役となり話し合いました。



◆話し合いは参加型ワークショップ形式で。司会進行は NPO 法人 NIED・国際理解教育センター。

「住民主体のまちづくり」は「参加型」で!

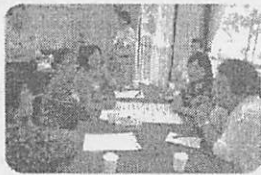
ワークショップスタート!

① まずは自己紹介

まずはお互いを知り合うことからスタート。名前、何をしてる人が、自分のウリとともに、根本校区への思いを紹介し合います。



地域住民に行うアンケートの内容について、検討する。



② 根本校区この 10 年

次に、「我がまち」を見てみましょう。5～6 人のグループで、根本校区の 10 年を振り返り、変わったなと思うことを書き出します。

④ アンケート調査項目のアイデア出し

最後に、まちの人たちにアンケートでどんなことを聞いたら良いと思うか、グループで話し合い、3～5 項目にまとめます。



③ 根本校区のビジョンを描こう!

10 年後の根本校区はどんなまちになっていると良いでしょうか。意見をどんどん出し合い、構造紙に書き出していきます。



お答えします Q&A

- Q; ワークショップには毎回必ず出席しなくてはならないですか?
A; できれば全部に参加してもらえると嬉しいですが、毎回記録を作成しますので、欠席後の回も安心して参加してください。
- Q; グループは固定するのですか?
A; 何回かグループ替えをします。テーマが決まれば関心のある者同士の固定メンバーになります。
- Q; 「福祉」が主体だと思っていました。「地域力」とはどういう範囲のことですか?
A; 当初は「地域福祉力」としていましたが、文字通りの福祉だけでなく、防災、交通なども入れてよいという議論があり、今に至っています。

← 裏面へつづく!



▼ プレワークショップかわらばん (裏)

根本校区・地域力向上プランづくり かわらばん 平成 23 年 7 月発行

こんな意見が出ました!

1 まずは自己紹介

あなたの「根本校区で一番好きなおとこ」、
「根本校区で残念だと思っているところ」は?

〈一番好きなおとこ〉
一番落ち着ける我が家/山の景色/町内の森の道/根本川/田園風景/口元の池の堤防の上から見下ろす場所/松坂台からのながめ/旭ヶ丘第四町内公園(桜)/諏訪神社/某喫茶店/駅(帰ってきたと思う)/明和町第二町内会 etc...

〈残念だと思っているところ〉
公共交通機関が不便/朝の車の混雑/太多線の複線化/ゴミ問題/駐車・犬の散歩のマナーの悪さ/もう少し川の水がきれいになること/テナントが少ない/集まりに若者の出席が少ない(世代間の差)/若い人が増えてほしい etc...

プレワークショップ成果物

根本校区について、みんなでわいわい話し合った結果、どんな意見が出たのでしょうか…?

今回参加されたのは…

根本校区参加者：42名
その他：多治見市2名、社会福祉協議会2名、
協働団体3名、計49名のみなさん

2 根本校区この10年

根本校区の10年間、「変わったな」と
思うことは?

〈人口〉高齢者が多くなり子どもが少なくなった
〈地域〉老人一人住まいの増加/子ども会が少なくなってきた/ボランティア活動の活性化/休耕農地→家庭菜園の増加/下水道がつながった
〈自然〉川がきれいになった(虫が出るようになった)/川が汚れた/田んぼが減り駐車場になった/桜の木が大きくなった
〈交通〉太多線(本数が多くなった・乗る人が少なくなった)/東鉄バスの便が減った/無料バス(福祉バス)が有料になった/248号線バイパス完成/高速バスの増加/自動車が増え路上駐車が
〈住宅〉集合住宅が多くなった/空き巣の減少
〈施設〉医院、介護施設が増えた/大型店の進出で小売店が少なくなった etc...

3 根本校区のビジョンを描こう!

10年後の根本校区は、どんなまちになっているといい?

〈商業施設の充実〉買い物、病院等が便利な町/いろいろな種類のお店がある
〈道の整備〉道路や坂道の不便さがなくなる/交通死者年間ゼロ/街並みの整備(街路樹を植える)/JR太多線の高架化で踏切をなくす
〈地域〉若い人が多く住む町/市民が中心となって考えている/困ったときに「助けて」と言える町づくり、それに答えることのできる町づくり/行事の充実(田植え・芋の苗・夏祭り・秋祭りの継承/朝市産地直売/地域子ども会活性/各世代老人・子ども・親)と一緒にわいわいできるふれあいの場
〈ライフライン〉きれいな飲料水/安定した電気(原発)
〈働くこと〉職場職域の拡大/百姓の後継者づくり/農地拡充/若者がリターンできるまちづくり/地産産業
〈自然保護〉自然がある/大原川を虫でいっぱい/小川に魚がいて釣りができ泳げる川作り/高根山を桜でいっぱいに/これ以上山の緑をなくさず、このまま残し緑の町にする
〈交通機関の充実〉身体障がい者・高齢者に優しい駅/公共交通機関の増加/交通の便が良い/地域内外の巡回バス
〈施設の充実〉コンサートホール/美術館/小規模でもよいから多くの図書館がある/新公民館の有効活用/公共施設整備(子ども、青年、婦人、高齢者) etc...

4 アンケート調査項目のアイデア出し

まちの人に、アンケートでどんなことを聞いたらいい?

結果、同封のアンケートができあがりました!
併せてご覧ください!

根本校区の10年後は どんなまちになっているといい?

~次回ワークショップのお知らせ~

アンケートの結果を踏まえ、参加者のみなさんとともに、根本校区の現状を見つめ、将来像を描きます。
ぜひご参加ください!

9月下旬 場所：根本公民館
開催予定 お問合せ先：根本校区地域向上推進委員会
TEL(0572) 27-6605

ワークショップ進行は…

NPO法人「NIED(ニード)・国際理解教育センター」が担当しています。変えたいことがある!それがよりよい未来の「出発点!」をスローガンに、よりよい質の教育とまちづくりのために、参加型の研修、参加と共働のプロセスデザイン、教材づくりなどを行っているNPO法人です。





▼ 第1回ワークショップかわらばん

根本校区・地域力向上プランづくり かわらばん 平成 23 年 11 月発行

第1回に行ったこと

日時：10月15日(土)
13:30~16:00
場所：根本公民館
人数：30名

第1回 語ろう！共助のまちのビジョン

＜開催報告&第2回へのお誘い＞

1 主催者あいさつ

根本校区地域向上推進委員長、多治見市高齢福祉課長より

2 開催趣旨の説明



暮らしやすい魅力的な地域のために、自分たちで考えて行動する人々のつながりが『地域力』です。いざという時のためだけではなく、日頃から誇りと愛着を感じ、誰もが気持ちよく、安心して暮らすことのできるまちづくりをここから一緒に始めましょう！

3 アンケート結果報告

アンケートのうち、「地域の評価」、「めざしたい将来像」、「地域の課題」、「住民が協力して取り組むべきこと」について、地域別、年代別に分析した結果を説明しました。

4 一言自己紹介

お互いのことを知り、安心できる場にするために、簡単な自己紹介しました。



多治見市

根本校区
地域力向上
プランづくり
かわらばん

平成 23 年 11 月
発行：根本校区地域向上
推進委員会
多治見市北丘町 1-73
TEL (0572) 27-6605
編集：NIED・国際理解教育セク

5 どの課題を優先して取り組んだらよいか？「15のテーマをランキングして点数をつけて、決めよう！」

① 個人作業…15のテーマから、今後考えていきたいものを9個選び、より大事だと思う順にランキングした。

15のテーマ：①防災、②防犯、③ゴミマナー、④ペットマナー、⑤駐車・駐輪マナー、⑥高齢者への配慮、⑦子育て支援、⑧障がい者への配慮、⑨自治会活動・行事、⑩近所づきあい、⑪世代間交流、⑫スポーツ・文化・教育活動、⑬交通弱者支援、⑭施設活用、⑮自然環境保護

② グループ作業…個人の結果をグループで発表した後、話し合いでグループとしてのランキングを決めました。

③ 全体作業…グループの上位1位の課題に3点、2位に2点、3位に1点をつけ、全グループ分を集計しました。

④ 全体での話し合い…15のテーマの点数をもとに、優先して取り組むテーマ(課題)を7つとしました。

6 テーマごとに、ビジョン(めざす将来像)を考えよう！

関心のあるテーマでグループを作り、各テーマのビジョンを話し合いました。

優先して取り組む7つのテーマ(課題)と

第1回の成果

ビジョン(めざす将来像)案ができました！

- A 防災…日本一防災意識の高いまちづくりをめざす！
- B 地域交流…誰とでも話しができるまちづくり
- C 高齢者・障がい者…買い物・通院が便利なまち
ふれあいで安否確認が自然にできるまち
- D 子ども・子育て…子育て・親育ち、子どもがいまいきと活きるまち
- E ペットマナー…ペットのにおいのないまち—ストップ ザ “うんち”
- F 防犯…“被害0(ゼロ)”笑顔のまちづくり！
- G 自然環境…ごみを捨てないまち、歴史や自然を大切にするまち



第2回のご案内

◆日時：11月26日(土)
13:30~16:00

◆場所：根本公民館

◆対象：どなたでも歓迎！

語ろう！
ビジョン達成に必要なもの



▼ 第2回ワークショップかわらばん

根本校区・地域力向上プランづくり かわらばん 平成23年12月発行

第2回に行ったこと
日時: 11月26日(土)
 13:30~16:00
場所: 根本公民館
人数: 25名

第2回 探ろう!ビジョン達成のために必要なもの <開催報告>

1 あいさつ&説明

地域向上推進委員長からあいさつ
 進行役からねらいと行うことを説明

2 個人の意見を提案

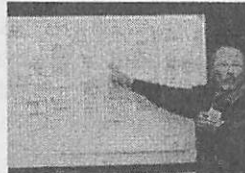
参加者全員で7つのビジョン達成のために必要な取り組みをビジョンごとに考え、付せん紙に書き出しました。

3 グループで分類整理

ビジョンごとに、付せん紙に書かれた提案をグループが分担して、分類整理して、全員の意見をわかりやすくまとめました。

4 全体で発表!

グループでまとめたビジョン達成のための提案を全体で発表しました。



多治見市
 根本校区
 地域力向上
 プランづくり
 かわらばん

平成23年12月
 発行:根本校区地域向上推進委員会
 多治見市北丘町1-73
 TEL (0572) 27-6605
 編集: NIED・国都理解教育セカ

第2回の成果

ビジョン達成のための取り組み(案)ができました!



テーマ	ビジョン達成のための主な取り組み(案)
防災	<ul style="list-style-type: none"> 区・町内自主防災組織・あり方の見直し 危険箇所の点検・見直し 訓練実施の強化 避難場所の確保 設備点検と結果のマップづくり 意識の啓発 町籍簿の作成 日常の予防 情報の早期把握
地域交流	<ul style="list-style-type: none"> 近所づきあいのススめ 公報の充実 共通の話題(課題)を見つけ・共有 リーダーの育成 「多世代」「楽しみ」のある地域行事の充実 交流場所の活性化 サロン・クラブ・趣味を通じての交流機会 あいさつ運動
高齢者 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> まちぐるみの支援 地域組織の活用 地域の高齢者・障がい者などの要支援者の把握 隣近所・地域での助け合い 買い物の共助 交通(移動)の公助
子ども 子育て	<ul style="list-style-type: none"> 子育て環境の充実 親育ちの支援 子どもの自立を支える地域教育 あいさつ運動 地域で見守る安全対策 親子・多世代など地域行事の充実 遊ぶ・集う・触れあうための施設・環境の充実
防犯	<ul style="list-style-type: none"> 防犯の心がけの周知 カメラ・防犯灯・看板・交番などの防犯に向けた投資 声かけ運動 防犯組織づくり
自然環境 ベットマナー	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史と環境を学ぶ 環境美化の実践活動の推進 子どもへの環境教育 ポイ捨て・フンなどの規制対策 ホテルやトンボの棲む川など美しい環境を大切にする 飼い主への注意・啓発・教育 他都市の先進事例に学ぶ

次のご案内

第3回 学ぼう!
 住民主体の地域づくり活動

◆日時: 1月14(土)
 13:30~16:00

◆場所: 根本公民館
 ◆対象: どなたでも歓迎!



▼ 第3回ワークショップかわらばん

根本校区・地域力向上プランづくり かわらばん 平成 24 年 2 月発行

第3回に行ったこと

日時: 1月14日(土)
13:30~16:00
場所: 根本公民館
人数: 34名

第3回 学ぼう！住民主体の地域 づくり活動

<開催報告>

1 取り組みテーマ決め

あいさつの後、6つのテーマから自分が取り組みたいものを選び、チームに分かれました。

2 瀬戸市の事例講義

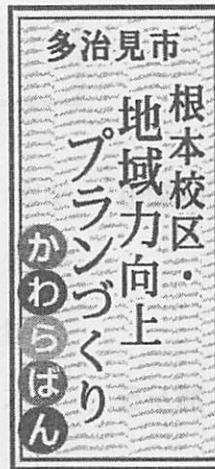
3年前から「地域力向上事業」を始めている瀬戸市の事例について、瀬戸市役所地域活動支援室の中桐室長からお話をいただきました。瀬戸市で既に活動を行っている7地域の具体的で参考になる取り組み内容や次の事業運営のポイントを聞くことができました。



- ① 地域に愛と夢を持ち続けよう
- ② 委員は各種団体の代表である
- ③ 地域へのこまめな情報発信が必要(ロコミが大事)
- ④ 視察や講演会を通じた刺激が必要
- ⑤ 検討も大事だが、行動することがもっと大事
- ⑥ 継続できるかは代表と事務局長次第

3 取り組みの 優先順位決め

瀬戸市の事例も参考にしつつ、第2回の時に、全員でテーマごとに提案された「ビジョン達成のための取り組み(案)」を、6つのチームごとに、どれを優先して取り組んだらよいか話し合い、上位3つの取り組みを考えました。



平成 24 年 2 月
発行：根本校区地域向上
推進委員会
多治見市北丘町 1-73
TEL (0572) 27-6605
編集：NED・国際理解教育センター



第3回の成果

来年度からの「はじめの一步の取り組み(案)」が提案されました！



テーマ	来年度から始める優先順位が高い3つの取り組み(案)
防災	1. 組織の確立(区・町内自主防災の見直し、意識啓発、町籍簿の作成、日常の予防) 2. 現状把握(危険箇所の点検見直し、設備点検とマップづくり、情報の早期把握) 3. 訓練の実施(訓練実施の強化、避難場所の確保)
地域交流	1. 趣味の交流の促進(同好会、クラブ組織) 2. 地域サロンを進める(井戸端会議) 3. 広報活動の充実(スーパ-などの掲示板、チラシ発行、インターネットの活用)
高齢者 障がい者	1. 弱者を知る(地域の高齢者・障がい者などを把握する) 2. 地域組織の活用(町内会など各種ボランティアとの連携強化) 3. まちぐるみの支援(向三軒両隣の拡大)
子ども 子育て	1. あいさつ運動=子どもに語りかける(地域の内、いつでも、どこでも、だれにでも) 2. 親子・多世代参加の地域行事の充実(現在ある地域行事を核として発展。根本区、町づくり市民会議) 3. 地域を見守る安全対策(子ども見守り隊の再編成、学校との情報共有)
防犯	1. 防犯パトロール隊の見直し(青色パトの結成、「子ども110番の家」との連携) 2. 「防犯カメラはあなたの目」カメラの設置 3. 防犯に対する広告の掲示、回覧を増やす
自然環境 ペットマナー	1. 美しい環境づくり=散歩道・ホテルの樓木川、タバコ吸い殻捨てないまち(自主的に活動する意識) 2. 根本の歴史を学ぶ(地域への愛着、自然と環境づくりのために)学校の協力 3. ペット飼育者への教育

次回のご案内

第4回 深めよう！
私たちのアクションプラン

◆日時: 2月18(土) 13:30~18:00
◆場所: 根本公民館
◆対象: どなたでも歓迎!



2) 参加者名簿

地域力向上推進会議 会合参加者

明和町	新井 順三郎	国府田 賢二	桑原 勝美	鈴木 茂三
	鈴木 唯芳	玉置 東	永井 文子	藤井 陸夫
	渡辺 靖允	度會 正年		
旭ヶ丘	相木 長	片田 充	加藤 一夫	川本 紀男
	川本 侑子	長谷川 武夫	前田 稔人	前田 松男
	松岡 博	山田 義則	吉川 理	
高根町	鈴木 滋雄			
松坂町	浅野 みな子	澤近 祥弘	徳田 信治	西尾 幸一
	橋本 義昭	長谷川 好江	堀 丈夫	山田 健一
	吉田 邦彦	若尾 宏		
北丘町	大倉 マル子	酒井 桂次郎	加納 茂夫	久我 正
	国定 勝利	白濱 重晴	戸田 政雄	林 文夫
	長谷川 裕子	林 文夫	林 幹夫	堀 和幸
	三津原 卓朗	和田 理恵子	渡邊 信一	度会 伸也
昭栄町	平林 勝己			
根本町	池田 次郎	大畑 睦男	亀井 頼直	小林 梓
	近藤 敏和	呉田 智子	柴田 俊二	柴田 博安
	寺島 芳枝	成瀬 和久	平岡 和喜夫	松本 知之
	吉田 純子	若尾 忠男	若尾 幸雄	
根本小	後藤 康元			



メモ

...

...

...

...

根本校区地域力向上プラン

平成24年(2012年)6月

発行 根本校区地域力向上推進会議
〒507-0064 岐阜県多治見市北丘町1丁目73
TEL: 0572-27-6605 (ふれあいねもと内)

協力 NPO法人 NIED・国際理解教育センター
